



ロータリー：
変化をもたらす



守口ロータリークラブ 週報 No.9



2660地区 I.M第3組ガバナー補佐
宮田 明 様

2017-18 RIテーマ

基本的教育と
識字率向上月間

本日のピアノ演奏

1、秋桜 2、世界に一つだけの花 3、ラルゴ

本日例会 2017年09月27日(水) (第2731回)	次回例会 2017年10月04日(水) (第2732回)
「片山ガバナー公式訪問」	「 」
担当：会長・幹事	担当：米山奨学委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
09月13日	30 (内免除者2名)	14	64.10%【会員41名】
08月30日	30 (内免除者2名)	メイクアップ2名 (76.92%)	



前回例会 (2730回) 9/13の主な内容

本日は 宮田 明 ガバナー補佐訪問です



◎ゲストご紹介
国際ロータリー2660地区 I.M第3組ガバナー補佐
宮田 明様 (くずはRC)

◎新会員ご入会 (大野会長より入会の証贈呈)

黒川 佳典様 (1983年5月21日生) 34歳
職業分類 (人材派遣)
松本 誠也様 (1983年8月7日生) 34歳
職業分類 (イベントプロデューサー)

◎ビジターご紹介
山口 尚志様 (くずはRC会長)
源本 将人様 (くずはRC幹事)
宮内 国彦様 (守口ERC)



■ 会 長：大 野 智 子	■ 例 会 場：ホテル・アゴラ大阪守口 守口市河原町10-5 TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 幹 事：井 上 智 裕	■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴラ大阪守口5F 〒570-0038 TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝	■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
URL：http://www.moriguchi-rc.jp/	■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間

(会長 大野 智子)



今日は2660地区宮田ガバナー補佐をお迎えして、守口ロータリークラブ例会の様子を見て頂き後に、ご指導をお願い致します。

私の会長の時間は、第一週はR I 並びに地区の方針ロータリー特別月間テーマについてお話をさせております。第二週は昭和の女性史、第三、第四週目はたわいも無いお話をさせて頂いております。今日の会長の時間は昭和の女性史の第2回目として、お料理に関するお話で愛情のこもった美味しいお料理を作る人、頂き方のマナーを教える方とお二人のお話をさせて頂きます。

まず、お料理を作る人、江上トミ様についてお話をさせて頂きます。

日本の料理研究家、テレビ放送創成期より活躍され、料理番組講師の草分けであり、日本の料理研究家の元祖でもあり、NHK「今日の料理」日本テレビ「キュービー3分クッキング」などに出演して、ふくよかな、温かいおふくろさん、の笑顔と熊本弁で人気を博された方でした。会員の奥様方にも知っておられる方が多いと思います。1899年11月19日熊本県日浦市出身。

トミ様は7人姉妹の6女として誕生しました。江上家は守護大名の一族で祖父は京都より料理人を呼び寄せて、台所を任せられた食通でした。駐在武官の夫と共にフランスに渡り、パリの料理学校コンドブリュに学び、戦後ご主人の失業を期に、福岡に料理学校を開校しました。

昭和30年東京にて江上料理学校を開校して、校長となりました。テレビに多く出演され、家庭料理の根本は「愛情」であるを、モットーに、その教え上手と、親しみのある笑顔が魅了でした。そして藍綬褒章や正6位勲5宝冠章を受章され、その功績をたたえられています。お料理は愛情から、家族に美味しいお食事を作ることは「愛情の深さが味の深さ」とおっしゃっているのに感銘を受けました。

もう1人は料理マナーの第一人者である酒井美恵子様のお話をさせていただきます。1926年(大正15年)2月18日生まれ、日本料理の評論家で国際的マナーの第一人者である、酒井美恵子さんについてご紹介させて頂きます。

彼女は加賀百万石の家系を継ぐ公爵前田利為の長女として誕生しました。幼少期はロンドンで過ごし、女子学習院卒業。在学中は昭和天皇の第一皇女昭宮茂子内親王とご学友であり元伯爵家の酒井忠元氏と結婚されました。戦後はマナーの講師として、テレビや講演で活躍され、その後は皇室関係のマナーの指導にも充てられておりました。そしてハクビ総合学院学長となり、その後は百合姿きもの学院、京都きもの学院の学長を兼任され活躍されました。

著書は「マナー小辞典」他65冊あります。洋食はテーブルマナーで習わりますが、和食のマナーはあまり聞きませんので失礼とは思いますが、おさらいという型で見ていただくと幸いです。

お食事は自由です。自分流に頂くといいいのですが、参考にしていただければいいと思いました。



ニコニコBOX S・A・A

- 石井 会員 ガバナー補佐宮田様のご来訪を喜んで。
- 大野 会員 御二人のご入会を祝して。ロータリアンの仲間としての活動を期待しております。
- 菊田 会員 先日、大阪地下鉄で生まれて初めて若者が席を譲ってくれました。嬉しく感謝したのですが、反面自分ではまだまだ若いと思っていたのに、傍目には老人に映っているのかと思うと複雑な気分になりました。
- 白井 会員 先日の例会、休みましてすみませんでした。
- 井上 会員 お二人の新入会を祝して。
- 佃 会員 現在の最年小記録、更新を祝して。
- 三宅 会員 先日、博多先生のクリニックで診断してもらい、血圧が高い事が判明致しました。現在薬で治療中です。成人病の仲間入りを記念致しまして。
- 雛壇 一同 ガバナー補佐をお迎えして。

09/13 ニコニコBOX 309,000円

卓 話

川村 弘和 会員



近江商人と三方よし

私は、ご存知の方もおられますが滋賀県出身でございます。昔で言う近江商人でございます。近江商人の多くは、湖東地域の人が多く輩出しております。近江八幡市、東近江市、彦根市、豊郷町、日野町などは、今も近江商人保存地区として屋敷などを重要伝統的建造物とともに選定されています。

近江商人と称される人々は、悠遠の昔より東西南北に天秤棒担いで出かけ、その土地土地での産物の物流を商いの基本としました。遠くは北海道の産物を関西から西へと中継するなど行商も活発化し、高麗(朝鮮)方面へ進出した歴史等もあるなど枚挙に暇がありません。現代に受け継がれる商業活動が長期的かつ広域的に展開し、経営理念には、「三方よし」の精神と家訓が息づいています。滋賀出身者の多くは、子供の頃より、こうした精神を教わり「心得」としてしています。

そういった地域には良い学校があります。明治19年創立で日本で10番目、県立の商業学校としては全国初の商業学校、現在の八幡商業高等学校は、近江商人の仕官学校と言われて来ました。

こんな逸話があります。伊藤忠商事の5代目社長「越後正一」は、15歳で伊藤忠商事の入社試験を受けました。面接をした2代目伊藤忠兵衛社長に八幡商業を卒業してから入社しなさいと云われたそうです、そして5代目の社長に登り詰め活躍されたのです。

2代目伊藤忠兵衛は明治37年卒でこの頃の英語教師はウィリアムヴォーリーズです。メンソレタムの会社(近江兄弟社)を創設し建築家でも有名で多くのヴォーリーズ建築様式が現在も多くの建物が残されています。また、ヴォーリーズは、戦後初めて日本に上陸したマッカーサーと無二の親友だったそうです。

3代目社長小菅宇一郎は明治45年卒、山崎豊子作の「不毛地帯」のモデルになりました。

5代目社長に越後正一氏が伊藤忠兵衛に面接で八幡商業を卒業して来なさいと言われた人です。大正9年卒で伊藤忠商事の中興の祖で繊維相場の神様と言われています。

伊藤忠以外では、日本生命保険会社を昭和63年社長時代に、世界一の保険会社にした川瀬源太郎は昭和9年卒。世界的な下着メーカーに育てた「ワコール」の創業者、塚本幸一は昭和11年卒。後に京都商工会議所の会頭になっています。明治30卒の永井幸太郎は、日商岩井(双日)創業者で後に政府の貿易庁長官になり、1ドルを¥360に定め戦後の復興に貢献された人であります。

(～卓話は、次ページに続く～)

◎幹事報告(幹事 井上 智裕)

- 1、次週9月20日の例会は休会です。
- 2、9月27日は片山ガバナール公式訪問です。
- 3、守口支援学校の運動会にRACからお手伝いに行きます。

◆◆◆委員会報告◆◆◆

○親睦活動委員会 (中道委員長)

サンバカーニバルご案内

日 時：9月27日(水) 19:00～21:00
場 所：ホテル・アゴーラ大阪守口2F
参加費：7,500円

○社会奉仕委員会 (廣瀬委員長)

平成23年台風12号災害で被災されました五條市へ義捐金をしました。

その義捐金での慰霊碑建立などのお礼と報告。

◆◆◆クラブ協議会だより◆◆◆

日時：2017年9月13日(水) 13:40～
場所：「飛鳥の間」出席：19名
議題：2017～2018年度各委員会事業計画と進捗状況

◆◆◆第3回理事会だより◆◆◆

日時：9月13日(水) 14:30～
場所：「飛鳥」出席：9名
議題：地区大会信任状の選挙人選出について

卓 話

(~卓話、前ページからの続き~)

政治家では、もう1人総理大臣になった人がいます。昭和15年卒の宇野宗佑です。宇野氏は防衛大臣、通産大臣、外務大臣など歴任し平成元年自民党総裁、総理大臣になられました。

明治33年卒の児玉一造は、東洋綿花㈱を設立した人で、愛妻家であり社員の面倒をよく見た人で有名です、こんな言葉を残されています。「妻をかわいがらない男は野蛮人にも劣る、人の世話をする事の嫌いな人間は大成せぬ。」

次の表題、近江商人の「三方よし」はCSR（企業の社会的責任）のルーツ、今の時代だからこそ学ぶべきものが多いと思います。昔、「近江商人が歩いた後は草木も生えない」と言われました。どうも世間には、近江商人に対する誤解があるようです。それくらい商魂たくましいということ、つまり根こそぎ持っていかれる・・・というイメージですかね！

近江商人は江戸の初期から、当時高級とされていた上方の物資を全国へ行商していました。その際、上方の物資を売るだけでなく、商売をした土地の特産品も持ち帰っています。それぞれの土地が栄えるよう、ちゃんとお金を落としているわけです。土地の人の役に立たなければ、よその地で長く商売は出来ない。そうゆう気持ちが強かったようですね。明治初期に起こった秩父（埼玉県）の一揆の時も、「日頃から身銭を切つて地元尽くしてくれているから」と近江商人の造り酒屋と百貨店だけは襲撃しなかったそうです。（蒲生郡日野町出身の矢尾喜兵衛）

では、どうしてそうした誤解が生まれたのかということですが、各地の行商人が泊まる宿で、朝一番早く出かけて夜一番遅く戻ってくるのが近江商人だったと言われています。そうした勤勉さが、あらぬ誤解を生んだのではないかと思います。

近江商人の商売の基本は、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三方よしです。これについても、お客様を大切にすれば、「売り手」より「買い手」が先にくるべきだろうと言われることがあります。しかし、ここでいう「売り手」とは、実は自分のことではなく、「仕入先」のことなのです。「仕入先にも納入先にも社会や世間にメリットがあるように・・・」、これが「三方よし」の精神なんです。

滋賀は比叡山の半分が位置していることもあり、天台宗や浄土宗、浄土真宗のお寺がたくさんある信心深い土地柄です。天台宗には、「忘己利他（むじりた）」といって「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」という教えがあります。

古くから人々の心に根付いてきた、そうした教えが、商売においても「三方よし」という考えを生み出したのではと思います。

江戸時代から売り手や買い手に加え、「世間よし」という精神を持っていたのは凄いことだと思います。今、企業の社会的責任（CSR）が盛んに言われていますが「三方よし」にはこの考えがちゃんと含まれています。実際、「日本には古くからCSRがある。そのルーツは近江商人の「三方よし」である」と指摘する学者も現れており、近江商人を尊敬し「三方よし」を仕事のモットーしてきた私達としても誇りを感じています。近江商人の商売に対する考え方には、今でも、いや今の時代だからこそ、見習うべき点がたくさんあると思います。

また、「うちの会社は利益がないから、少人数だから社会貢献なんてとても・・・」という声を時々耳にします。しかし私はCSR（社会貢献）とはそうゆうものではないと思うのです。たとえば寄付だけでは無く、会社や店の前の道路を毎日掃き清めることも立派な社会貢献です。社会に役立ち、支持される仕事や商売をし、それぞれの実体に合わせた形で奉仕して行く、これは規模や利益の大小に関わらず、社会に存在する以上、社会の一員として全ての企業が果たすべき役割ではないでしょうか。なんかロータリーの職業奉仕の社会貢献の精神にも通じているような気がいたします。

近江商人の家訓・理念の紹介

外村与左衛門家の「心得書」現代でいう経営理念

東近江市五ヶ荘町出身で商号「外与(株)」は江戸後期の近江商人番付けで最高位にランクされた豪商であり、現在は京都に本社があり、東京、大阪、にも支社を置く創業300年を超える総合繊維商社である。

商いの基本姿勢は「古来より我が家相伝の駆け引き方、自然天性にして、我が勝手ばかりを計らい候事、一切相成らず、自他共に相成るべく候事を深く相考え、勤め行い致すべき事也、・・・目先当然の名聞（ミヨメ）に迷わず、遠き行く末を平均に見越し、永き世の儀を貫き申すべきはからい也、これすなわち先祖代々の思い召し、退転なく今に相続いたす所也。」

これは問屋業に従事する家としての基本的な商いの姿勢を鮮明にしたものであります。

わかりやすく言いますと、「取引においては、自分勝手な態度を取らず、相手を尊重した共存共栄の立場に立ち、駆け引きや作為を排して、自然の成り行きにまかせ、目先の損得に迷うことなく、長期的平均に見て判断し、永世の義という人の道に従うことをあらためて誓約している。」まあ、このような立場は、販売の姿勢でも貫かれています。

クラブ協議会

